

世代をつなぐ北区まちづくり ラジオプロジェクト

活動場所：北区 活動開始：平成28年8月～

立命館大学産業社会学部
坂田ゼミ



RMK (Radio Mix Kyoto)
北区役所

■ 地域が抱えていた課題

北区には多くの大学があり、市外から転入者も多く、ワンルームマンションなどにたくさんの学生が暮らしている。一方で、地元とのつながりがなく、地元住民と交流するきっかけも少ない状況にある。まちの活性化を図るためにも、地域住民と学生との世代を超えたつながりをつくり、交流を図ることが求められている。

■ 取組（連携）のきっかけ

立命館大学や北区役所などが参画し、平成28年に北区に開局したコミュニティFM「RMK (Radio Mix Kyoto)」にて、北区にまつわる番組制作をするほか、千本北大路の楽只市営住宅を活用したプロジェクト「1000KITA」を交流の場として、世代を超えた多くの人々が交流する企画を立て、北区の活性化に貢献していきたいと考えた。

■ 具体的な連携の取組

ゼミでは月1回、「キタトーク」という北区の魅力や情報を発信する生放送のラジオ番組を制作している。ラジオを通して、北区の住民と学生がつながっていけるような番組制作を目指している。また、ラジオ番組だけでなく、北区の住民と直接関わっていけるよう、地域の方と連携して、地域活性化のためのワークショップを企画している。

■ 今後の活動

ゼミで制作している月1回の生放送を、今後も継続する。また、1000KITAでのワークショップの展開も踏まえ、ワークショップの内容も織り交ぜた番組企画を構成し、北区の住民と学生にとって、より身近で興味深い番組プログラムを展開していく予定である。

■ 成果

①大学・学生の視点

北区にまつわるラジオ番組の制作を通じて、地域の住民に直接取材する機会が増えたことで、北区について知るきっかけが増え、愛着を持つようになった。また、取材を通じ、北区という場所だけでなく、人々とのつながりも出来ていると考える。

②地域の視点

学生の目線から北区の魅力をラジオで伝えることにより、地域の住民が北区の魅力を再発見できると考える。昔から北区に住んでいるからこそ分かることもあるが、学生だからこそ見つけられる、新たな魅力を発信できる。

活動写真



ラジオ番組の収録



ラジオ番組の収録



そらたね祭 取材



そらたね祭 取材



そらたね祭 取材



そらたね祭 取材

